

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 12月 21日

事業所名 ホッグ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		率にならないようテーブルの配置をしています	多動児童などの特性に合わせてスペースの確保等に努めてまいります
	2	職員の配置数は適切である	○		児童の特性や性別に合わせて配置しています	児童の特性に合わせて多い人員配置を今後も行っていくつもりです
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内の段差などはないようにしています	玄関前に階段がありますが、室内はバリアフリーに努めてまいります
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		面談やミーティングにて各職員が参画するようにしています	様々な新しい分析ツールや知識を取り入れることによってよりの確なフローに努めます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		面談やミーティングにて把握するようにしています	保護者様の評価やニーズの把握は今後も注力していく必要があると考えています
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて掲載しています	ホームページの認知に改善の余地があり検討していきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では評価には至っていません	今後も引き続き外部評価の導入を検討してまいります
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修を取り入れています	今後も職員の課題に合わせ様々な分野の研修参加をしていきます
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的にかつ細かくアセスメントを取るようにしています	児童発達支援計画にはかなり注力できていると思います
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		定期的にかつ細かくアセスメントを取るようにしています	様々な職員が様々な視点でアセスメントを取るよう今後もしてまいります
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		様々な職員が様々な視点で立案するようにしています	より効果的なプログラムを立案できるようにしてまいります
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童の心身の状況を見ながら工夫しています	より様々な障害特性に合ったプログラムになるよう心掛けてまいります
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		児童により取組む課題を変えています	障がい特性により集団活動が難しく課題としています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童の特性に合わせて作成しています	よりSSTの観点で計画する必要があると考えています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		随時共有できるようにしています	職員間の意識の差があり今後も共有を心掛けていきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々共有できていると思います	時間が少し掛かりすぎていることがあり短時間で共有できよう努めてまいります
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		児童個々の気づいた点をメモするようにしています	記録の質と時間の掛けるバランスが難しく課題と認識している
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを実施し見直しの判断ができています	見直しの可否判断の意識を常に持ち成長を妨げないように今後も意識してまいります	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		自立支援を念頭に余暇の提供をしています	コロナ禍もあり地域交流の機会が得られていません	

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童ごとの担当職員も同席するようにしています	引き続き継続していきます
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	積極的にコミュニケーションを取るようにしています	学校により連携度合いに差があり課題と考えています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	対象児童の在籍がありません	看護師が在籍していますが受入れ体制ではありません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	担当者会議等を実施し連携しています	利用開始の年齢によっては保育所等とは連携していません
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	必要あれば担当者会議等を実施し連携しています	相談支援事業所への情報提供などに連携しています
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	必要に応じて助言を求めるようにしています	研修参加は積極的に行っていますが、緊密な情報共有とまでは連携できていない点において必要に応じて連携していきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	交流する機会がありません	コロナ禍もあり交流の機会が得られていません
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	地域の連絡会への参加をしています	機会があれば積極参加をしております
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	日々の行動を良いことや課題を含めて伝えるようにしています	ご家庭や学校での様子の把握するようにしています
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	ご相談に對してできる限りの助言や訪問を行っております	関係機関に繋ぐことを拒否される場合がありますその対応に課題があります
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	丁寧な説明を心掛けています	引き続き丁寧な説明をしていきます
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	様々な取組みや試みをした上での助言などを行っています	知識や経験を増やしより有効な助言ができるよう努めます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	保護者同士の連携に配慮しています	現在は保護者会等は設けていません。今後の課題といたします
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	迅速に対応するように心掛けています	職員個々の対応スキル向上に努めます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	イベント等の予定のお知らせ等を発行しております	よりわかりやすく発信できるよう努めていきます
	35	個人情報に十分注意している	○	十分に注意し取り扱っております	引き続き注意をまいります
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	保護者様に応じて様々なツールを使用しています	特性に合ったツールの更新などを検討しております
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	コロナ禍もあり外部招待などは行っておりません	今後はプライバシーを確保しつつ検討をまいります

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	マニュアルに工夫し周知するよう努めています	保護者の方に周知出来ていない部分もあり課題としております
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	様々な有事を想定し実施しています	より実際に近い訓練を心掛けます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	研修への参加や勉強会をおこなっています	新しい職員への研修機会確保に努めます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	対象となりうる場合は支援計画に入れ、かつ保護者への説明を行っています	記載内容がよりわかりやすよう取り組んでいきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	食事時など十分に注意し対応しています	他児童の食べ物を口に入れるなど突発的な対応が課題と考えています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	細かい事例でも記載するようにしています	職員間で認識に差がないように努めています